

平成21年度第4回

## 八王子市市史編集委員会

日時：平成21年9月27日（日）

午後2時から

場所：八王子市市史編さん室

### 【次第】

1. 開会
2. 専門部会の活動状況について
3. 市史編集方針（案）について
4. その他
5. 閉会

### （配付資料一覧）

- 資料1 市史編集専門部会調査活動報告
- 資料2 八王子市市史編集方針（素案）

資料 1

平成 2 1 年 9 月 2 7 日  
八王子市市史編集委員会

市史編集専門部会調査活動報告

(平成 2 1 年 8 月 ~ 9 月分)

部 会 名	平成 21 年度 第 1 回 原始・古代部会 実地踏査	開催（実施）日時 平成 21 年 8 月 8 日（土） 午前・午後 9 時 00 分～ 午前・午後 17 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	関 和彦	専門員氏名 馬場 有美
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 関 和彦 部会委員 池上 悟 及川良彦 深澤靖幸 専門調査員 服部敬史 横田深雪 黒田智章 【事務局】新井雅人 馬場有美	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
<p>【コース】</p> <p>めじろ台駅 梶田遺跡 浄泉寺 龍見寺 館町遺跡 南多摩窯跡群 片倉城跡 (昼食) 中山白山神社 蓮生寺 東京都埋蔵文化財センター 京王線多摩センター駅</p> <p>1. 梶田遺跡（梶田町）</p> <p>縄文時代中期の集落として保存状態がよく、国指定史跡となっている。長期にわたり人が住み続けていたことから多数の住居跡が重なって発見されている。梶田遺跡公園は梶田第 遺跡に位置し、発掘はされているが未報告である。梶田第 遺跡とされる神谷原遺跡は現在梶田運動公園となっている。</p> <p>2. 浄泉寺（館町）</p> <p>北条氏照家臣近藤出羽守の館跡の伝承が残る。本堂近くの土塁を確認し、境内と周囲の景観、墓標を見学。</p> <p>3. 龍見寺（館町）</p> <p>裏山を登り、トレンチの位置と経塚出土位置を確認した。この経塚の発見が、古代から中世の景観の手がかりとなると考えられている。また、縄文土器片も発見されていることから、縄文時代に土地利用があったとみられている。</p> <p>4. 館町遺跡（館町）</p> <p>旧石器時代から近世まで遺構の発見されている遺跡群。縄文時代の落とし穴が多数発見されている。ゆりの木台中央公園の歩道橋から周囲の景観を眺め、当時の土地利用を考えた。</p>		

5．南多摩窯跡群（七国）

古代武蔵国の四大窯跡群の一つとして知られる。窯跡のほか、瓦と須恵器が豊富に出土している。七国公園ドックラン前の土手から、みなみ野を見渡すことができた。

6．片倉城跡（片倉町）

城内の縄張りを見学し、掘跡を確認した。二の丸の北に縄文時代遺跡があったことが確認されている。

7．白山神社（中山）

氏子総代の石井兵庫氏よりお話をいただいた。経塚と銅鏡が発見された当時の様子を伺うことができた。白山神社には長隆寺の礎石がある。その長隆寺のあったとされる「堂山」と呼ばれる地を探した。

8．蓮生寺（別所）

現在セレモニーホールのある場所の発掘がなされている。縄文土器、石器、弥生土器が出土、古墳時代住居跡が検出された。境内では、薬師堂の礎石、市指定文化財の宝篋印塔などを見学。

9．東京都埋蔵文化財センター（多摩市落合）

展示「多摩ニュータウン No.72 遺跡 ～縄文のムラ～」と収蔵庫の見学。センター職員並木仁氏に解説をしていただいた。No.72 遺跡は八王子市に位置し、旧石器時代から近代までの発掘成果がある。

多摩ニュータウン遺跡は 965 遺跡あり、そのうちの半分以上が八王子市域のものである。この成果をどのようにまとめるか、課題となった。

部 会 名	平成 21 年度 第 4 回 原始・古代 部会	開催（実施）日時 平成 21 年 9 月 17 日（木） 午前・午後 18 時 00 分～ 午前・午後 20 時 10 分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	関 和彦	専門員氏名 馬場 有美
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 関 和彦 部会委員 池上 悟 及川良彦 黒尾和久 深澤靖幸 専門調査員 服部敬史 横田深雪 紺野英二 【事務局】佐藤広 新井雅人 馬場有美	
<p>概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）</p> <p>1．副部会長の選出 原始・古代部会副部会長に池上悟委員が決定。</p> <p>2．進行状況報告 （1）発掘調査報告書の概要作成状況 （2）八王子市全域の遺跡地図の作成状況 （3）八王子市遺跡リスト（エクセルデータ）作成状況</p> <p>3．資料編の編集方針 （1）古代文献資料は資料編でなく本編で扱う。 （2）考古の分野だけを扱った『原始・古代 考古資料編』とする。 中世以降の考古については他部会と調整をする。 （3）他自治体史の資料編を研究者向けと一般向けに分けて考察。 八王子市史では一般向けの資料編とする。 （4）八王子市の遺跡の特徴と資料編の内容について 遺跡ごとに概要を紹介するのか、地域・河川の流域で、あるいは遺跡ごとの関係性で資料編の内容を構成するのか、意見を交換した。</p> <p>4．池上悟委員による報告 「八王子の古墳」 30 分</p> <p>5．今後の活動予定 第 5 回部会会議を開催する。 日時：10 月 7 日（水） 18 時から 議題： 資料編の具体的な内容について 今後の調査計画について 服部敬史専門調査員による「八王子考古学史」の報告 その他</p>		

部 会 名	中世部会	開催（実施）日時 平成 21 年 8 月 21 日（金） ～ 8 月 23 日（日）まで
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	池上裕子	専門員氏名 柳沢 誠
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 池上裕子 部会委員 小林一岳 加藤 哲 櫻井 彦 専門調査員 遠藤ゆり子 長谷川裕子 徳永裕之 原 美鈴 【事務局】新井雅人 柳沢 誠	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）  8 月 21 日（金）～ 23 日（日）の 3 日間にわたり、本市式分方町・大楽寺町・上壱分方町・諏訪町・四谷町・泉町・叶谷町周辺において、聞き取りを中心とした調査を実施した。部会委員・専門調査員等を 3 班に分けて行動した。 聞き取りは、家の由来や、集落の成り立ちに関する由緒や伝承に焦点を合わせて行なった。その中で古文書や各種資料（石造物・棟札等）の情報を得て実見できた場合は、撮影・実測を行なった。  1．諏訪・四谷・泉・叶谷班（池上・加藤・柳沢〔1 日目のみ原も参加〕） （1）四谷町・諏訪町の調査（1 日目） 四谷町の古老から、旧家や周辺の古い話を聞き取り。また諏訪町では諏訪下町で白馬観音を拝観。諏訪宿の成り立ちについて聞き取り。 （2）叶谷町の調査（2 日目） 午前は大楽寺町にて聞き取り、午後大楽寺町西蓮寺にて文書・板碑の調査（撮影・実測）。また叶谷町住吉神社氏子総代等へ聞き取り。 （3）叶谷町～泉町の調査（3 日目） 午前は叶谷町で聞き取り。午後泉町の古い地形の調査、および湧水・水路の確認。  2．式分方班（小林・遠藤・原〔原は 2 日目以降〕） （1）大楽寺町法泉寺における調査（1 日目。上壱分方・大楽寺班と共同） 法泉寺所蔵資料の調査（撮影等）。同住職より上壱分方町・式分方町周辺の旧家等の情報を聞く。また式分方の名主関山氏の屋敷跡を調査。		

( 2 ) 報恩寺観音堂跡・円光院跡調査 ( 2 日目 )

板碑等の石造物、棟札の撮影・実測、周辺住宅にて神明神社の信仰圏等について聞き取り。

( 3 ) 神明神社・八坂神社周辺の調査 ( 3 日目 )

氏子の範囲等につき聞き取り。式分方周辺の写真 ( 昭和 22 年ごろの牧堀。現野堀川緑道 ) を見せてもらう。また、旧家の屋号について聞き取り。

3 . 上壱分方・大楽寺班 ( 櫻井・長谷川・徳永 )

( 1 ) 大楽寺町法泉寺における調査 ( 1 日目。式分方班と共同 )

2 の ( 1 ) 参照。

( 2 ) 上壱分方町にて聞き取り ( 2 日目 )

金子家所蔵の絵図・地籍図を調査・撮影。以後の調査に使用するため、撮影した図面をプリントアウトして彩色、地形を確認。

( 3 ) 上壱分方町北側の水路の実踏確認 ( 3 日目 )

西寺方町宝生寺近辺から東京天使病院、大柳グラウンド周辺にかけて、前日撮影の図面を見ながら取水口・水路の確認を行なった。

毎日調査終了後は各班の報告を行ない、翌日以降の調査方針を話し合った。

詳細な調査報告書は現在各班ごとに作成中。

部 会 名	近世部会（史料調査）	開催（実施）日時 平成 21 年 8 月 4 日（火） 午前・午後 10 時 00 分～ 午前・午後 4 時 00 分 外
報告者（部会長氏名） < 敬称略 >	藤田 覚	専門員氏名 白石 烈
出席者（参加者）氏名 < 敬称略 >	部会長 藤田覚 部会委員 神立孝一 光石知恵子 山崎圭 【事務局】佐藤広 新井雅人 白石烈	
<p>概要</p> <p>1. 八王子市郷土資料館寄託小比企町磯沼家文書調査</p> <p>(1) 日時 8月4日(火) 8月27日(木) 9月13日(日) いずれも 10:00～16:00</p> <p>(2) 内容 桐箱 1 から部会委員 4 人で閲覧し、資料編掲載候補史料を選択する。 選択された史料を事務局がデジタルカメラで撮影する。 3 回の調査で近世史料 9000 点弱のうち、2000 点弱の閲覧が終了。 閲覧は史料分類「支配」「勝手賄」「救恤」「鉄砲」「兵法」「土地」「貢租」など。 今後は各部会委員で主要名主 5 家の役割分担を決め、磯沼家文書担当の部会委員が調査を行っていく。</p> <p>(3) 主要名主 5 家の史料選択作業の分担 ア 上恩方町草木家文書および小宮町関根家文書（藤田部会長担当） イ 犬目町小野家文書（神立委員担当） ウ 鍵水・大塚家文書（光石委員担当） エ 小比企町磯沼家文書（山崎委員担当）</p> <p>2. 市内史料所在調査</p> <p>(1) 日時 9月18日(金) 9月24日(木)</p> <p>(2) 内容 由木地区東中野および松木において事務局が史料所在調査を行い、所蔵者から史料を借用した。今後も同調査を継続して行う。</p>		

部 会 名	近現代部会	開催（実施）日時 平成 21年 8月 24日（月） 午前・ <span style="border: 1px solid black;">午後</span> 4時 00分～ 午前・ <span style="border: 1px solid black;">午後</span> 6時 00分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	新井 勝紘	専門員氏名 中村 元
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 新井勝紘 部会委員 梅田定宏、齊藤勉、源川真希 【事務局】佐藤広 新井雅人 渡部恵一 中村元	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
<p>1．近現代部会の体制補充について</p> <p>新井部会長より、前回の会議で近現代部会への参加をお願いすることとなった先生方への連絡の結果につき報告。新たに部会への参加を承諾していただいた先生方は以下の通り。</p> <p>前田成東東海大学政治経済学部教授 佐藤正広一橋大学経済研究所教授 金子淳静岡大学社会教育センター准教授 鈴木芳行税務大学校研究員 保坂一房財団法人たましん地域文化財団歴史資料室室長</p> <p>2．前回会議以降の市史編さん事業の経過について</p> <p>前回7月6日の部会会議以降の市史編さん事業の経過および近現代資料の整理・把握の状況について、事務局より説明。</p> <p>前回の編集委員会で各専門部会での検討課題となった 市史編さん基本構想（素案）の刊行計画の検討、 来年度の近現代部会予算の検討</p> <p>については、近現代部会は、現行の刊行計画を前提に、平成23年度の資料編の準備をすすめる</p> <p>については、下記4．で検討</p> <p>3．近現代部会で当面必要な調査活動について（各部会委員からの提起）</p> <p>新井部会長...旧市史、市議会史からの使用資料の抽出作業 橋本義夫関係資料の整理作業</p> <p>梅田委員 ...八王子市および周辺地域の商工会議所所蔵資料調査</p> <p>齊藤委員 ...由木村役場文書に含まれている兵事関係資料のデータ入力作業</p> <p>源川委員 ...学校教育および社会教育関係資料の調査・まとめ</p>		

合併旧町村の役職・行政基礎資料（事務報告書など）の調査・まとめ

4．近現代部会の来年度活動計画について

平成 22 年度 専門部会活動予定（案）の検討

- ・会議の回数が多すぎるのではないか
  - ・多摩・八王子地域のベテラン研究者に話を聞いたり座談会をおこなったりする必要があるのではないか。そのための予算を計上すべきではないか
- 会議回数・予算などを改めて検討。

5．近現代資料編の構成について

平成 23 年刊行予定の近現代資料編 の構成を検討

今後数回の部会会議で議論し決定する予定。現在刊行準備中の小平市史の事例などをふまえ、行政資料を中心にした構成なども検討

6．その他

- (1) 次回会合までに八王子市郷土資料館の近現代資料の内容・利用方法について確認する。
- (2) 市民協働の方法について今後検討していく。
- (3) 次回は、部会会議というより近現代部会構成員顔合わせとして 10 月に会合をおこなう。

以上。

【配布資料一覧】

- 1．八王子市市史編さん室の近現代資料の把握・整理状況
- 2．平成 21 年度・22 年度八王子市史近現代部会調査活動計画表（仮）
- 3．平成 22 年度八王子市史近現代部会活動予定（案）
- 4．近現代資料編の構成について（参考資料）
- 5．平成 23 年度近現代資料編 1 刊行までのスケジュール

部 会 名	自然部会	開催（実施）日時 平成21年 9月16日（水） 午前・ <u>午後</u> 2時 00分～ 午前・ <u>午後</u> 4時 30分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	畔上能力	専門員氏名 押田佳子
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 畔上能力 副部会長 粕谷和夫 部会委員 菱山忠三郎 新井二郎 草野保 【事務局】新井雅人 押田佳子	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
<p>1．市史の内容について</p> <p>(1)自然編で1冊なので、相当分の情報を盛り込むことができる。短い期間においてどこまで調査、情報の整理が出来るのかが課題となる。市史のための調査ではなく、その先につながる、継続性のある文化として残していきたい。</p> <p>(2)自然と人との関わりを扱いたいので、歴史・民俗と打ち合わせを行いたい。 例)・乱獲や密猟だけでなく、新たに苗を持ち込むことが危険であること。 ・農業と自然環境とのかかわり。 など。</p> <p>(3)版型は、B5かA4の大判で写真が多いものがよい。</p> <p>(4)現在、植物、鳥類、両生類の委員で構成されているが、哺乳類や昆虫、地形・地質、気象系といった、自然編で重要度の高い分野のメンバーが欠けており、まだまだアンバランスな状況にある。早急にこれらの分野の補強をし、次回以降の委員会で足並みをそろえて出発したい。</p> <p>(5)他市の自然編を見る限り、丘陵地や山地、平野部といった、地形や地区ごとに生態系を捕らえているものが多いが、八王子は一括して、それぞれの分野ごとにまとめた方がいいのではないかな。</p> <p>2．今後の調査計画について</p> <p>(1)今年度の調査</p> <p>1)植物</p> <p>昭和49年に作成した植生図の修正を行う予定である。作成にあたり、植生の変遷状況や現調査対象地選定のため、21年度は八王子に関する地図資料（地形図、都市計画図、緑地保全区域図、航空写真、他）の収集、整理作業を中心に行う。</p>		

## 2)鳥類

現況調査については30年分の蓄積データがあり、会での調査も継続しているため、新規調査の必要はないが、それ以前の鳥相について文献調査(昔の役場文書、中西悟堂関係資料、など)を行いたい。

例)アカショウビンの記録など。

## (2)平成22年度の調査

### 1)植物

市内の実踏調査(植物相調査)を行う。

## (3)その他

### 1)故金井郁夫氏宅の資料調査

市内の動物相の調査資料が広い範囲で大量にある。貴重なデータなので、金井家との調整の上、調査を検討したい。

### 2)市民参加型の調査の検討

市内の自然活動を盛り上げ、後継を育てるため、「モリアオガエル」や「ホタル」など、誰にでもわかる種を目撃情報を募集するのがよいのではないか。

## 3. 次回部会開催予定について

11月中旬に、新たに哺乳類、昆虫類、地形・地質分野の委員を加え、詳細に調査、分野について検討する。

平成21年9月27日  
八王子市市史編集委員会

## 市史編集専門部会調査活動報告

(平成21年6月～7月分)(追加配付)

部 会 名	平成 21 年度 第 3 回 原始・古代 部会会議	開催（実施）日時 平成 21 年 7 月 31 日（金） 午前・ <u>午後</u> 6 時 00 分～ 午前・ <u>午後</u> 9 時 10 分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	関 和彦	専門員氏名 馬場 有美
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 関 和彦 部会委員 池上 悟 及川良彦 黒尾和久 深澤靖幸 専門調査員 服部敬史 紺野英二 横田深雪 【事務局】佐藤広 新井雅人 馬場有美	
概要（末尾に配布資料名を記載。必要なものがあれば事務局に御連絡ください）		
<p>1．進行状況報告と問題点の確認</p> <p>(1) 発掘調査報告書の概要作成状況について 今年度中に概要作成を完了するのは難しい。23 年度に刊行するには作業員の増員が必要。</p> <p>(2) 八王子市全域の遺跡地図の作成状況について 遺跡範囲・発掘区域の入力が終了し、各遺跡の時代区分を地図に反映する作業に入る。</p> <p>(3) 八王子市遺跡リスト（エクセルデータ）の追加項目について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・各遺跡の時代ごとの詳しい概要（遺構数など）</li> <li>・現住所</li> <li>・参考文献</li> </ul> <p>今後この 3 つの作業を進める。作成された資料を部会委員が確認する。</p> <p>2．資料編の版型について 版型により、構成が変わる。 カラー刷りは、紙質によってはページ数が変わる。 ボリュームの問題があるため、早めの判断が必要。 編集委員会で各部会との調整を図りたい。</p> <p>3．及川良彦委員による報告 「多摩の弥生時代から古墳時代前期を考える」 30 分</p> <p>4．実地踏査の打ち合わせ 「第 1 回実地踏査しおり」を配付し、当日のコースを確認。</p> <p>5．調査について 重要な調査として以下 3 つがある。見積もり依頼中。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・北大谷古墳の墳形の確認調査</li> <li>・ボーリング調査</li> </ul>		

・国史跡櫛田遺跡の整理作業

6. 今後の活動予定

第1回実地踏査を8月8日(土)に行う。

第4回部会会議を開催する。

日時：9月17日(木) 18時から

議題： 進行状況報告

資料編の編集方針について

今後の調査計画について

池上悟委員による古墳時代遺跡の報告

その他

配布資料

「八王子市遺跡一覧(エクセルデータ見本)」

黒田専門調査員作成の遺跡概要「中郷遺跡」「下寺田西遺跡」

「八王子市史編集専門部会原始・古代部会 第1回実地踏査しおり」

部 会 名	近世部会	開催（実施）日時 平成 21 年 7 月 24 日（金） 午前・ <span style="border: 1px solid black;">午後</span> 1 時 00 分～ 午前・ <span style="border: 1px solid black;">午後</span> 5 時 00 分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	藤田 覚	専門員氏名 白石 烈
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 藤田覚 部会委員 神立孝一 光石知恵子 山崎圭 【事務局】佐藤広 新井雅人 白石烈	
<p>概要</p> <p>1．小比企町の実踏調査 小比企町周辺の社寺や旧家の位置の確認および景観調査。</p> <p>2．財団法人江川家文書の史料調査について 国文学研究資料館所蔵マイクロ紙焼きと、葦山江川文庫への下見調査を事務局が行う。</p> <p>3．八王子市郷土資料館における史料調査について 小比企町磯沼家文書の調査を 8 月 4 日（火）に部会委員全員で行う。 部会委員が選択した史料を、事務局がデジタルカメラで撮影する。</p> <p>4．専門調査員について 部会委員および事務局推薦の 5 名を決定</p> <p>5．他自治体史近世編の章立ての検討 日野市、多摩市、相模原市、武蔵村山市、志木市、東村山市、川崎市、所沢市、横須賀市</p> <p>【配付資料一覧】</p> <p>1．小比企町実踏調査のしおり</p> <p>2．国文学研究資料館江川家文書目録（マイクロフィルム紙焼き）</p> <p>3．八王子市郷土資料館の史料閲覧について</p> <p>4．他自治体史（近世編）の構成概要</p> <p>5．横須賀市史通史編 近世 執筆項目一覧</p>		

部 会 名	民俗部会	開催（実施）日時 平成21年7月26日（日） 午前・午後 10時00分～ 午前・午後 12時00分まで
報告者（部会長氏名） <敬称略>	小川直之	専門員氏名 松尾あずさ
出席者（参加者）氏名 <敬称略>	部会長 小川直之 部会委員 津山正幹 小野寺節子 入江英弥 宮本八恵子 専門調査員 神かほり 乾賢太郎 高久舞 【事務局】佐藤広 新井雅人 松尾あずさ	
<p>概要</p> <p>1. 各部員より調査活動や刊行に関する案が提示された。</p> <p>(1) 旧10か村単位、旧市街地の民俗誌を刊行したい。</p> <p>(2) 山麓の山々、養蚕と製糸、宿場と市場、団地と都市化などの報告書を刊行し、本編はそれらの調査報告書をもとに民俗分類に沿って構成したい。</p> <p>(3) 地域の特徴を捉えるためのテーマとして「マチの生活と周辺農村との交流」、「地域社会の構成と現代社会」、「多彩な信仰行事と観光」などがあげられる。また、特論として「書承と民俗」、「八王子織物」、「職人」、「高尾山と観光」、「新たな祭礼」などがあげられよう。</p> <p>(4) 市域の民俗芸能について調査する。基本的には旧市史掲載の事例の確認・補足と神事・娯楽について調査を行う。聞き取り資料（由来、芸態など）、有形資料（用具や衣装など）のデータ収集や採集を行う。また、図表や譜例などを作成したい。</p> <p>(5) 民具図録や芸能誌を刊行したい。</p> <p>(6) 市域の家ごとに行われる年中行事について現状を記録し、あわせてかつての様子の聞き書きをしたい。記録にあたっては、地区、家、一族による相違についても言及していく。特徴ある年中行事に関しては市域に隣接する地域も取り上げて民俗分布地図を作成したい。</p> <p>(7) 雨乞い、雷除け、養蚕信仰、小正月などの年中行事を調査し、八王子の特徴をつかみたい。</p> <p>(8) 「暮らしの姿」を、場（景観）人、モノを通じて描きたい。調査地は、河川沿いの谷戸に開かれた集落のうち畑作水田作を生業とする地域、山間部で山仕事・薪炭業・養蚕業を主な生業とする地域を取り上げたい。また、絹の道沿いの鑓水、秋川街道沿いの川口、南東部の丘陵地帯の由木地区（ニュータウン化に伴う暮らしの変化を含める）なども調査したい。</p> <p>2. 1. を踏まえ、次回の部会時に部会長より調査・刊行計画案が提示されることとなった。</p> <p>3. 次回部会活動日程 9月20日（日）午前10時より今熊・上恩方を巡見、午後3時より会議を開催する。</p>		

平成 21 年 9 月 27 日  
八王子市市史編集委員会会議資料

### 八王子市市史編集方針（素案）

今日の地域社会は世界との強い関係をもち、社会・経済・文化等の急激な変化を経験し、多様な課題が生じている。それらの課題を適切に理解し対応するためには、地域を歴史的・総合的に考察することが重要である。

つまり、新たな時代に対応した八王子市を築くためには、生活する市民の視点から、あらためて地域を調査・研究し分析することが求められている。

- 1 八王子の歴史や自然を総合的、かつ具体的に把握して考察する。
- 2 地域を基本とする視点から、時代区分や分野を柔軟に取り扱う。
- 3 対象とする地域は現在の八王子市を基本とし、事項に応じて広範な地域にも配慮する。
- 4 本編と資料編の判型等は、原則、本編はA5判（148×210mm）1段組み・800ページ以内、資料編はA5判2段組、1000ページ程度とする。ただし、時代区分や分野の特性により、他に適切な判型等がある場合はこの限りではない。
- 5 執筆要項等、編集に必要な事項は別に定める。

原始・古代部会

1 年度予定

年度	事 項
21	資料編原稿作成 重要遺跡などの調査 遺跡・文献リスト作成 市内遺跡分布図の作成 <input type="checkbox"/> 図版作成・写真撮影
22	
23	資料編刊行
24	本編原稿作成
25	本編刊行
26	
27	
28	

2 資料編（平成 23 年度刊行）

考古資料集

3 本編（平成 25 年度刊行）

	担 当 分 野	執筆担当者
1	旧石器時代～縄文時代	黒尾和久
2	弥生時代から古墳中期	及川良彦
3	古墳時代	池上悟
4	奈良・平安時代	深澤靖幸
5	集落	服部敬史
6	古代史	関 和彦

## 中 世 部 会

### 1. 年度予定

年度	事 項
21	調査計画の作成 / 資料調査等の体制整備 <span style="float: right;">資料データの作成 <span style="margin-left: 100px;">資料調査</span></span>
22	<span style="float: right;">市内現地調査</span>
23	
24	資料編原稿作成
25	資料編校正 <span style="margin-left: 150px;">本編原稿執筆</span>
26	資料編刊行 <span style="margin-left: 150px;">本編原稿校正</span>
27	本編刊行
28	報告書・資料集の刊行

資料調査は市内・市外所在の個人・機関が所蔵する中世資料（文書等）を対象とする。

市内現地調査は聞き取りを中心に、古い集落成り立ちや有力な家の由緒を探り、古文書をはじめとする資料の所在を探索する。

報告書もしくは資料集は、資料集・本編の編集を通じてまとめる必要が出た場合に編集を行なう。

### 2. 資料編（平成 25 年度刊行）

文書、記録、系図、新出板碑など

### 3. 本 編（平成 26 年度刊行）

	時 代・分 野	担 当 者
1	鎌倉時代	櫻井 彦
2	南北朝・室町時代	小林一岳
3	戦国時代	池上裕子
4	寺社・宗教史	西岡芳文
5	城館史	加藤 哲

## 近 世 部 会

### 1 年度予定

年度	事 項
21	調査計画の作成、資料調査等の体制整備 史料筆耕 マイクロ撮影 史料所在調査 (家別・寺院・保存機関) 目録の作成(史料・文献)
22	
23	資料編 原稿作成
24	資料編 刊行 資料編 原稿作成
25	
26	資料編 刊行 本編上刊行 本編上・下原稿作成
27	本編下刊行
28	

### 2 資料編（平成 24・26 年度刊行）

文書史料を中心に

近世遺跡は、原始・古代部会へ。モノ資料等は、各編の口絵や挿入写真などで利用。

### 3 本編（平成 26・27 年度刊行）

	章	主な項目
1	近世八王子の成立	街道の整備と八王子十五宿 村 社寺など
2	八王子の力	市（織物・米穀・海産物など） 農林業 養蚕・製糸・織物 信仰など
3	八王子の文化	八王子千人同心 国学 洋学 宗教 文学 武術 芸能など
4	開国と八王子	幕末の動向

上記は、あくまでも参考として示したものです。

## 近 現 代 部 会

### 1 年度予定

年度	事 項
21	部会の体制整備 資料編 1 の資料調査
22	資料選択 解説原稿完成
23	資料編 1 刊行 資料編 2 の資料調査
24	資料選択 解説原稿完成
25	本編近現代 1・2 の執筆のための調査 資料編 2 刊行
26	執筆のための調査 本編近現代 1 の原稿完成 調査報告書
27	本編 1 刊行 本編近現代 2 の原稿完成
28	本編 2 刊行

### 2 調査報告書の刊行（平成 26 年度以降）

- ( 1 ) 『橋本義夫関係資料目録・調査報告書』
- ( 2 ) その他の近現代資料の調査報告書

### 3 資料編の刊行（平成 23 年度・平成 25 年度）

### 4 本編の構成（平成 27 年度・28 年度刊行）＜事務局素案＞

巻名	主な内容
近現代（上） 近代編 八王子の近代史	八王子の明治維新 自由民権運動と八王子 八王子市の出発 - 大正期の地域社会 昭和恐慌と八王子 戦争の時代のなかの八王子
近現代（下） 現代編 八王子の現代史	八王子の戦後復興 八王子市域への合併と地域社会 高度成長と八王子 21 世紀を迎えた八王子

## 自 然 部 会

### 1 年度予定

年度	事 項
21	部会の体制整備 資料および現地調査の計画設定と調査体制の整備（人材確保など）
22	八王子の生き物調査（市民協働） 本編執筆のための調査
23	本編執筆のための調査 本編原稿作成
24	本編 原稿完成 <span style="float: right;">調査報告書</span>
25	本編刊行
26	
27	
28	

### 2 調査報告書の刊行（平成 25 年度以降）

- ( 1 ) 『八王子の動植物』 「八王子市現存植生図」
- ( 2 ) 『八王子の大地・気象』 「八王子市地形分布図」「八王子市地質分布図」

### 3 本編の構成（事務局素案 横書き カラー）

	章	主な内容
1	八王子の大地と気象	位置 地形 地質 地史 気象 気候
2	八王子の生物相	自然環境（高尾山や陣場山の植物・動物相、多摩川・浅川水系、多摩丘陵など） 身近な自然環境（森林、草地、湿地、公園や市街地など） 変わり行く八王子の自然
3	八王子の自然を守るために	自然災害 身近な自然環境問題

# 民 俗 部 会

## 1 年度予定

年度	事 項
21	調査計画の作成 個別調査のテーマ設定 <span style="float: right;">個別（テーマ）調査</span>
22	民俗誌作成のための調査 <span style="float: right;">□</span>
23	民俗誌 刊行 <span style="float: right;">□</span>
24	民俗誌 刊行
25	民俗誌 刊行
26	民俗誌 刊行 本編 原稿完成
27	民俗誌 刊行 本編 編集
28	本編刊行

## 2 調査報告書の刊行

(2) 個別<テーマ>調査 約8テーマ 下記は例として  
織物 高尾山 民家 祭り(山車) 芸能 職人 日記 民具 開発(ニュータウン)

(2) 地域調査(民俗誌)5箇所程度 5冊刊行  
山地(2か所) 丘陵地(2か所) 市街地(1か所)

## 3 本編

個別調査 地域調査から